



海風の国

2024
January

1

2024年 1月号
佐世保観光マーケティングレポート

SASEBO TOURISM MARKETING REPORT

公益財団法人 佐世保観光コンベンション協会

写真提供:PIXTA

データに基づく 観光マーケティング ×ブランディングを目指して

2023年5月のコロナ5類移行以来、インバウンドを含む観光需要は急速に回復しており、佐世保市を訪れる訪問者数もコロナ前の水準に近づこうとしています。

こうした中、本市が”旅先として選ばれる地域”となるためには、これまで以上に戦略的な観光地域づくりを官民一体で進めていく必要があります。

私たち佐世保観光コンベンション協会では、そのキーワードとして「データに基づく観光マーケティング×ブランディング」を進めて参りたいと考えています。

携帯電話のGPSによる移動データや検索データ、宿泊予約データ、SNSデータ等の様々なビックデータを駆使し、本市を取り巻く観光の現状と課題をリアルタイムで分析し、各種の事業を展開します。

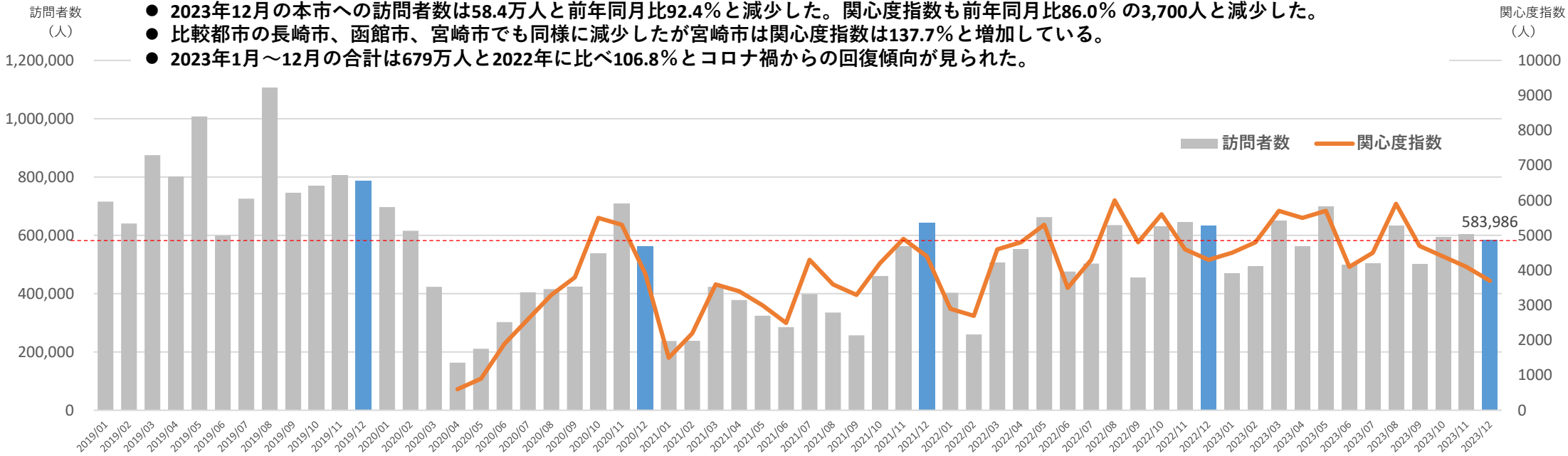
このレポートはこうしたビックデータやそれに基づく分析結果を観光関連事業者等の皆さまへお届けするために作成するものです。今後は毎月、本レポートを発行しながら、定期的な動画解説や各種セミナーなどを実施して参ります。是非、皆さんもデータに関心を持っていただき、私たちと一緒にデータに基づく観光地域づくりを進めていければ幸いです。

※本データは携帯電話アプリの位置情報や検索行動などを基にした推計値です。佐世保市が発表する観光統計とは異なります。



海風の国

2023年12月訪問者数・関心度指数サマリー



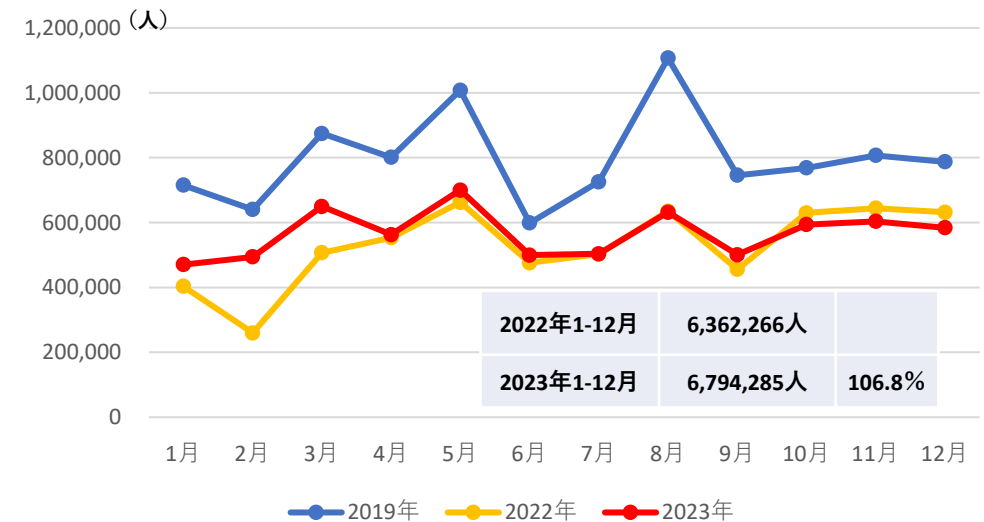
- 2023年12月の本市への訪問者数は58.4万人と前年同月比92.4%と減少した。関心度指数も前年同月比86.0%の3,700人と減少した。
- 比較都市の長崎市、函館市、宮崎市でも同様に減少したが宮崎市は関心度指数は137.7%と増加している。
- 2023年1月～12月の合計は679万人と2022年に比べ106.8%とコロナ禍からの回復傾向が見られた。

佐世保市：訪問客数・関心度指数

訪問者数・関心度指数相関係数 0.873 (2020年4月からの通算)

	訪問客数	関心度指数※
今月 (10月)	583,986人	3,700人
前年同月比	92.4% ↓	86.0% ↓
コロナ前比	74.2% ↓	—

佐世保市月別訪問者数



比較都市：訪問者数・関心度指数

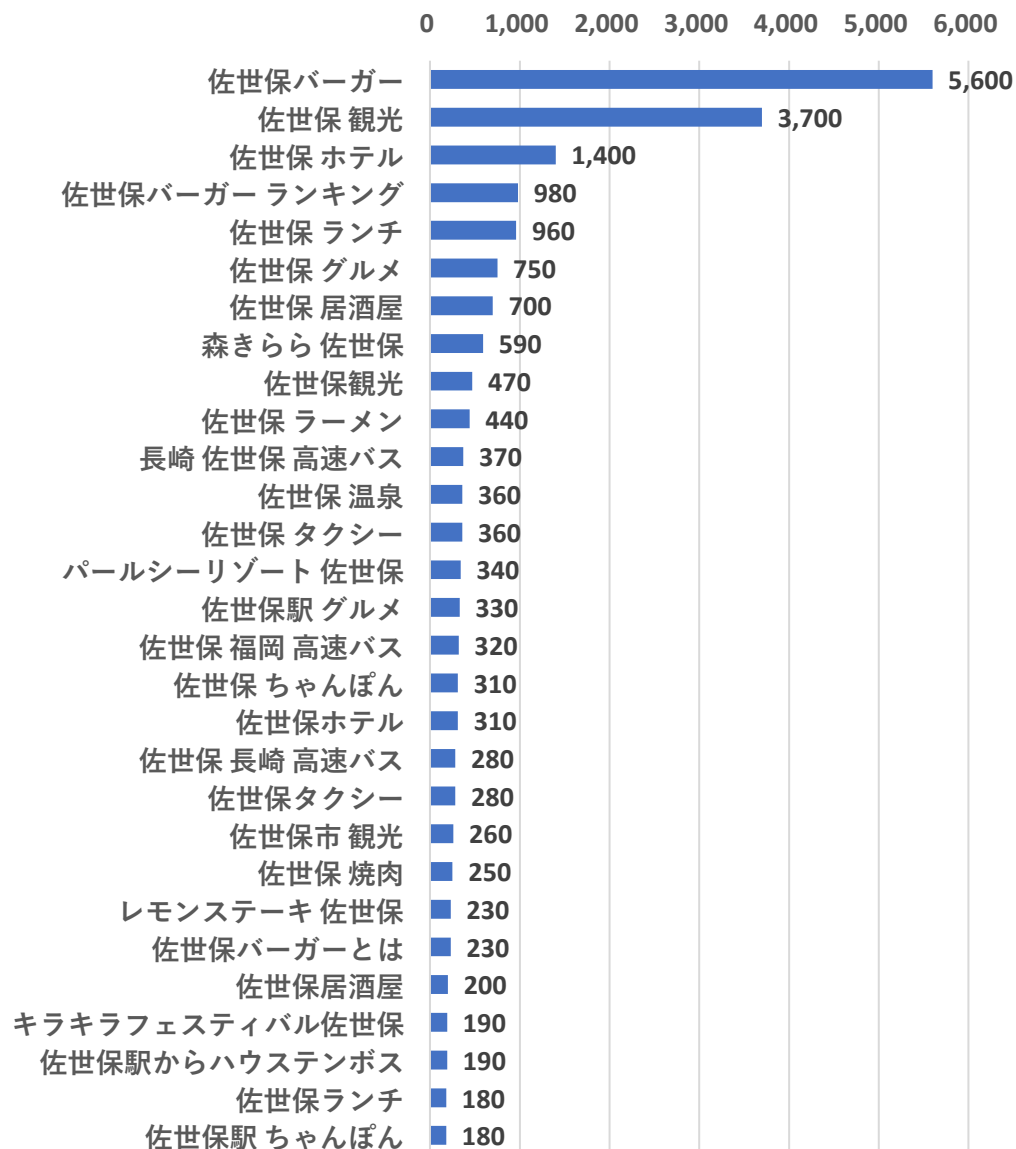
	佐世保市	長崎市	函館市	宮崎市
訪問者数	583,986人	676,921人	393,616人	428,626人
(前年同月比)	92.4% ↓	89.5% ↓	84.5% ↓	91.0% ↓
関心度指数	3,700人	17,500人	8,600人	8,400人
(前年同月比)	86.0% ↓	77.4% ↓	76.1% ↓	137.7% ↑

※関心度指数は、日本全体でどれくらいの人があるキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出。本レポートでは、検索キーワード「佐世保市」の観光関連の共起ワードで最多の「佐世保_観光」とし完全一致のみをカウントした。実際は「佐世保観光」、「佐世保_観光_〇〇」、「佐世保旅行」など検索ワードは様々であるが、定点観測ワードとして採用した。

12月の「佐世保」関連キーワード 関心度指数ランキング

- 12月の佐世保関連キーワードの関心度指数は「佐世保バーガー」が最も多く、「佐世保 観光」、「佐世保 ホテル」、「佐世保 バーガーランキング」が続いている。11月に続き「ランチ」、「グルメ」、「居酒屋」など食の関心度が上昇している。
- 関心度の増加率を見ると「キラキラフェスティバル」や「居酒屋」など12月を物語るワードが上位にランクインしている。

【「佐世保」関連キーワード関心度指数ランキングベスト30（人）】



<参考> その他佐世保市内施設の関心度指数

- ・ハウステンボス 76,100人（11月86,300人）
- ・九十九島 2,800人（11月3,200人）

【対前月からの増加率ランキング】

1位	キラキラフェスティバル佐世保
2位	佐世保タクシー
3位	佐世保駅からハウステンボス
4位	佐世保 居酒屋
5位	佐世保 ちゃんぽん
6位	佐世保居酒屋
7位	佐世保 ラーメン
8位	佐世保 焼肉
9位	佐世保駅 ちゃんぽん
10位	佐世保観光

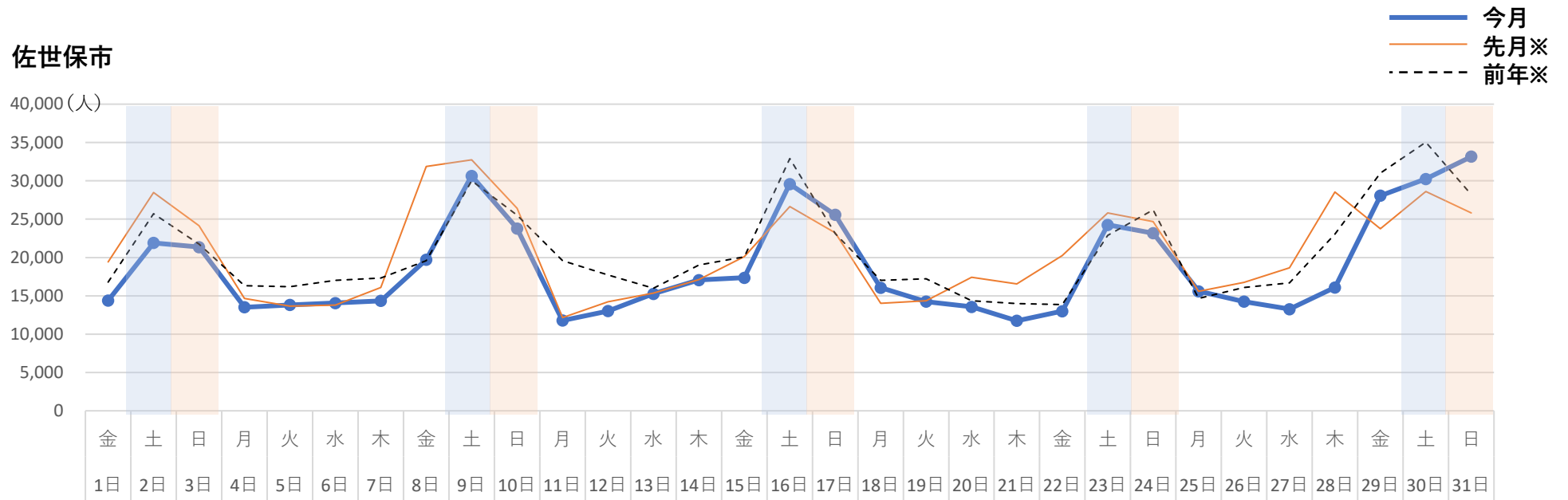
※関心度指数

日本全体でどれくらいの人があるキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出

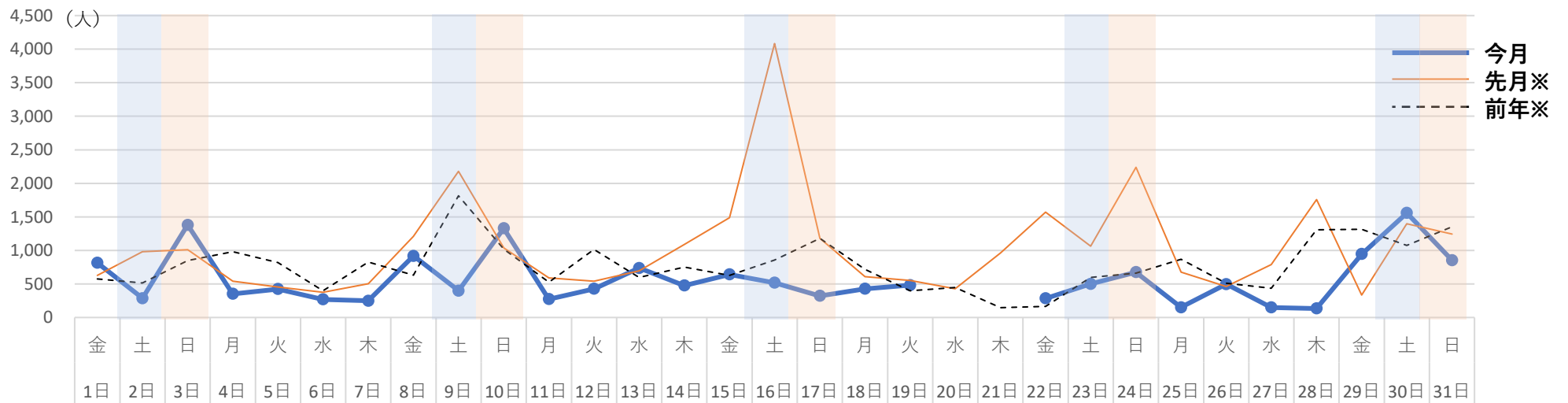
12月デイリー訪問者数

- 12月のデイリー訪問者数は、佐世保市全体では大晦日31日（日）が最多となった。
- 九十九島パールシーリゾートでは30日（土）が最も多くなったが、かき食うカキ祭りが開催された11月に比べると12月の訪問者数は減少した。

佐世保市



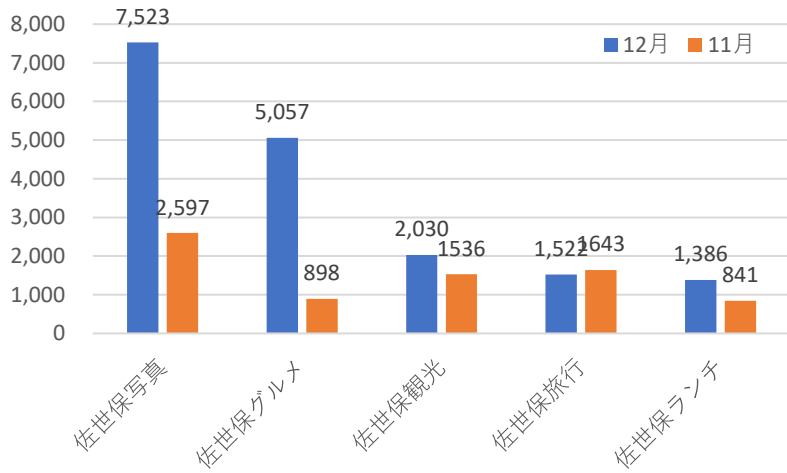
九十九島パールシーリゾート・海きらら



12月の佐世保関連キーワードSNS投稿数



12月投稿数

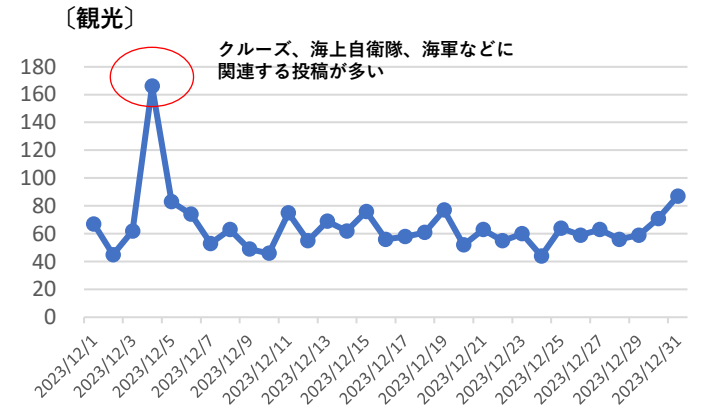
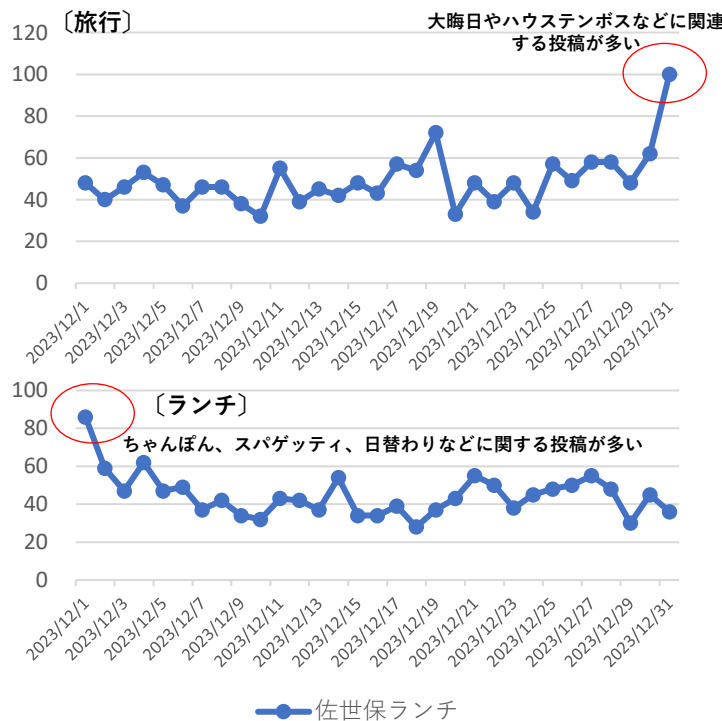


「X (旧Twitter) / Instagram / Facebookページ / ブログ / Q&Aサイト / YouTube / TikTok / 掲示板 / ニュース」投稿数の合計

1日あたり投稿数

	佐世保写真	佐世保グルメ	佐世保観光	佐世保旅行	佐世保ランチ
X (旧Twitter)	179.5	108.8	23.0	12.4	8.0
X (Twitter / RT無し)	14.5	3.6	11.5	9.4	6.3
Instagram	50.3	50.2	37.0	33.3	35.0
Facebookページ	0.4	0.4	0.5	0.2	0.1
ブログ	2.2	1.3	1.2	1.1	1.5
Q&Aサイト	0.3	0.2	0.3	0.3	0.0
YouTube	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0
TikTok	0.1	0.2	0.2	0.3	0.0
掲示板	0.4	0.1	0.3	0.1	0.0
ニュース	9.4	1.9	3.0	1.5	0.2
合計	242.7	163.1	65.5	49.1	44.7

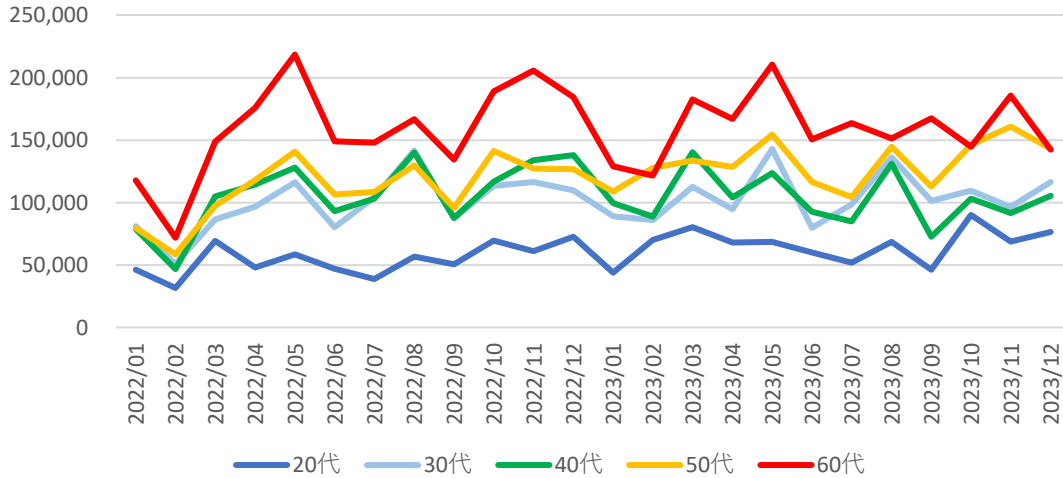
【12月キーワード別SNS投稿数】



2023年12月／性・年代別サマリー

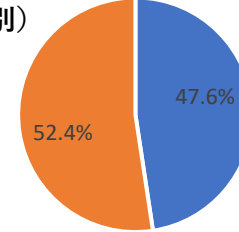
- 2023年12月の年代別訪問者数は、50代が14.3万人で最も多く、60代が14.2万人で続いている。
- 前年同月比では40代と60代で訪問者が減少したものの、20代、30代、40代で増加した。
- 関心度指数は40代、50代が最も多いが、50代を除く各年代で前年同月を下回った。
- 訪問者数を対前年同月で見ると、男女とも前年を上回る年代はなく減少傾向が目立った。こうした中、20代女性については前年比144%と唯一大きく増加している。

年代別訪問者数推移（人）



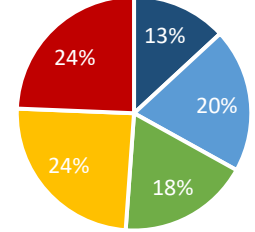
今月の来訪者数

(性別)



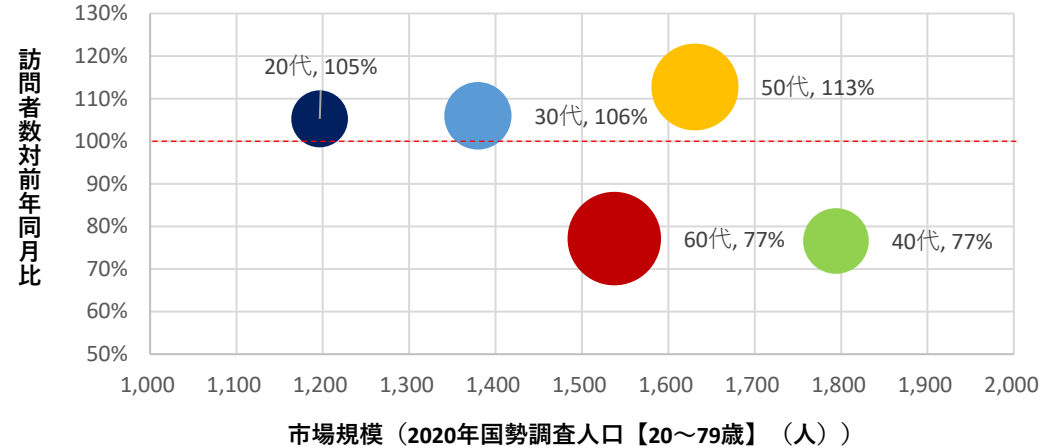
■ 男性 ■ 女性

(年代別)



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代

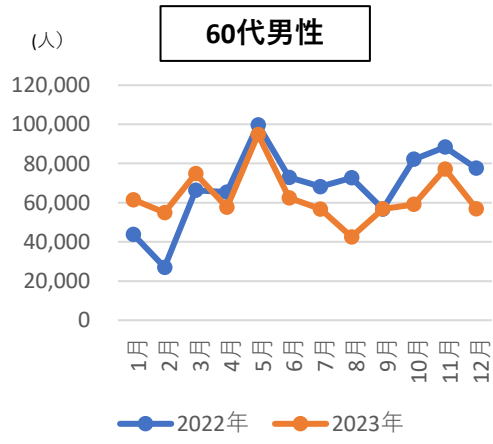
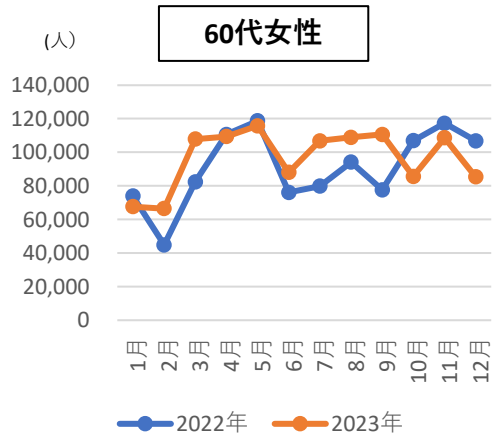
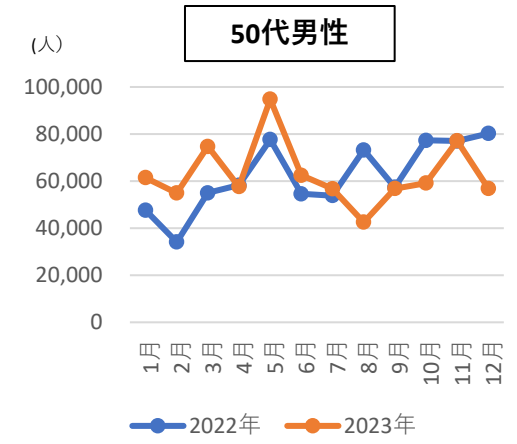
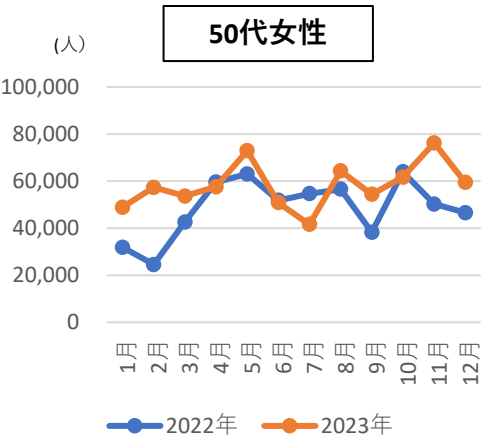
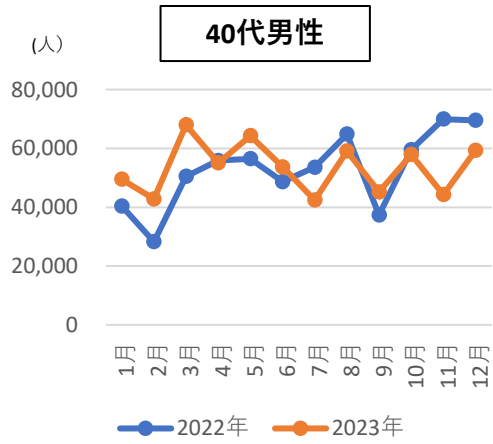
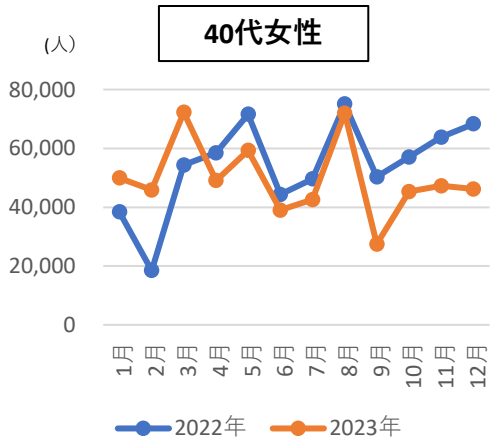
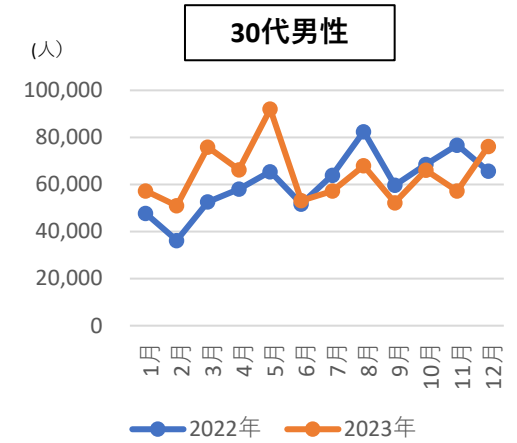
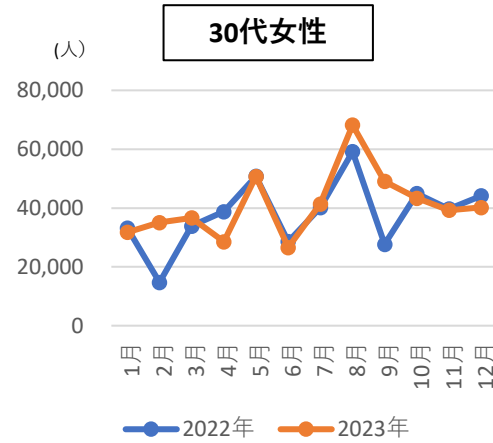
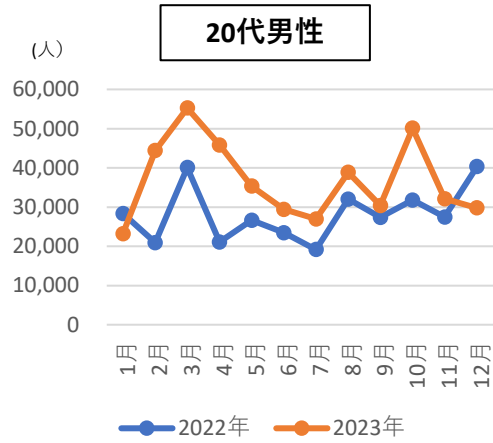
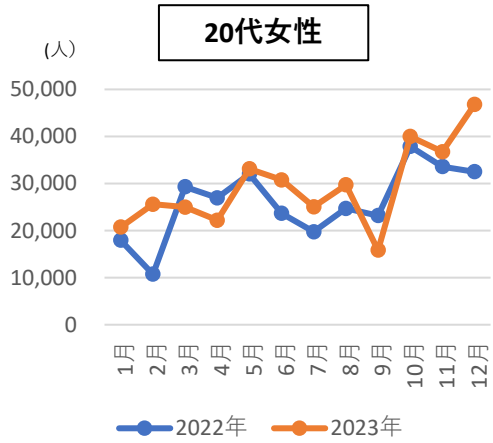
市場規模×訪問者数増加率（対前年同月比）※円の大きさは12月訪問者数



12月の年代別訪問者数・関心度指数

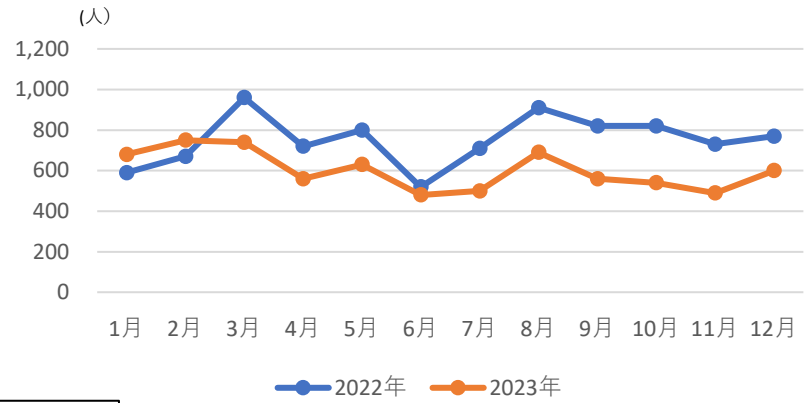
	訪問者数		男女比		前年同月比	関心度指数 「佐世保 観光」		前年同月比
	訪問者数	人口比※	女性	男性		20代(検索)	関心度指数	
20代	76,644	0.64%	61%	39%	105% ↑	20代(検索)	600	78% ↓
30代	116,416	0.84%	35%	65%	106% ↑	30代(検索)	600	78% ↓
40代	105,603	0.59%	44%	56%	77% ↓	40代(検索)	780	90% ↓
50代	143,038	0.88%	42%	58%	113% ↑	50代(検索)	780	100% →
60代	142,284	0.93%	60%	40%	77% ↓	60代(検索)	530	85% ↓

性・年代別訪問者数 対前年比較

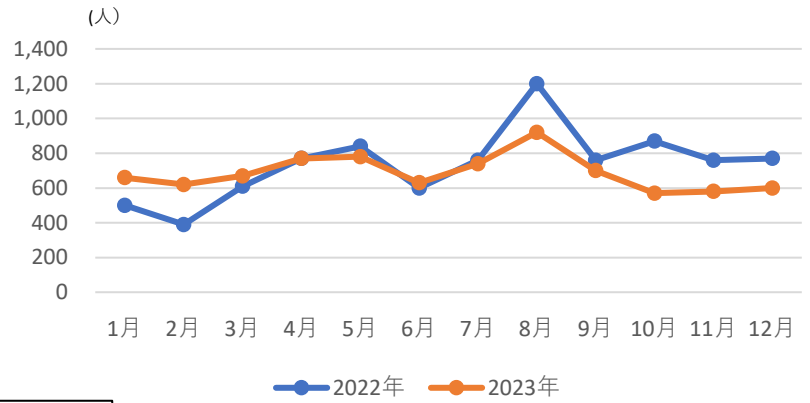


年代別関心度指数 前年比較

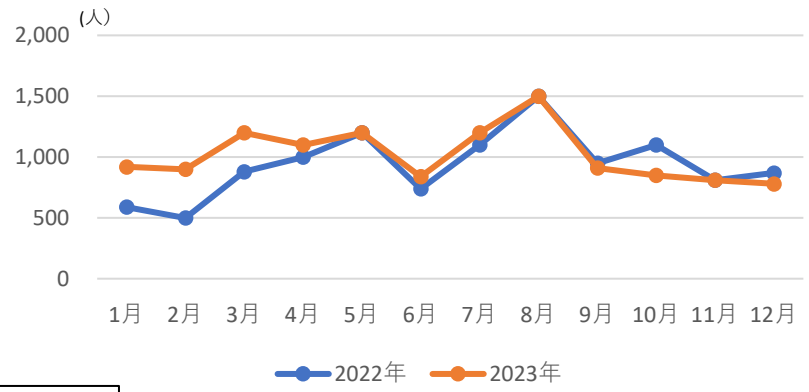
20代



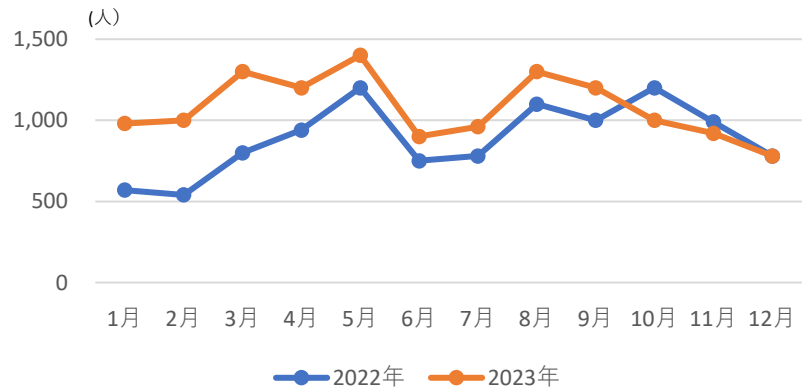
30代



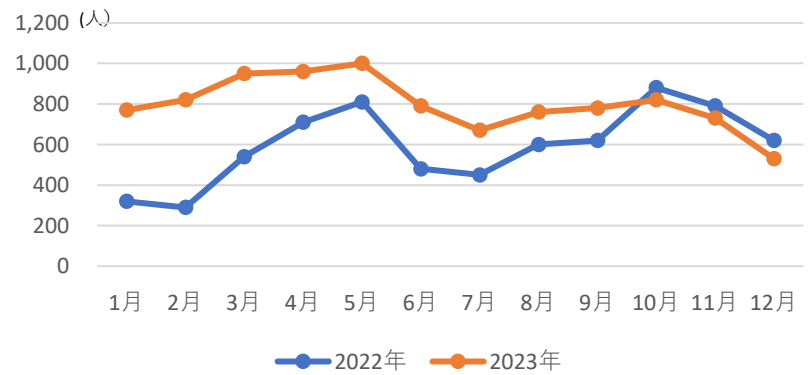
40代



50代



60代



性・年代別 訪問者数・関心度相関関係

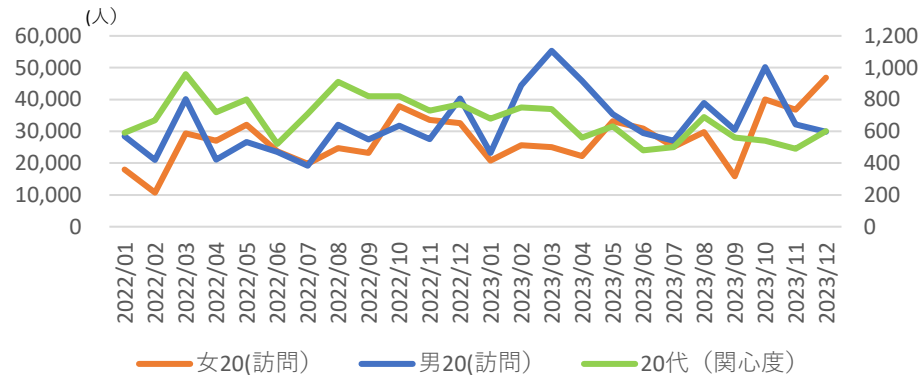
- 訪問者数と関心度の相関関係を見ると、40代女性、30代女性に相関関係があることが窺える。
- 同世代の女性は観光などの際に検索サイトなどを活用した情報収集を行う傾向が強いと推察され、WEBやSNSなどでのプロモーションの効果最も期待される世代ともいえる。

2022年訪問者数と関心度の相関係数※

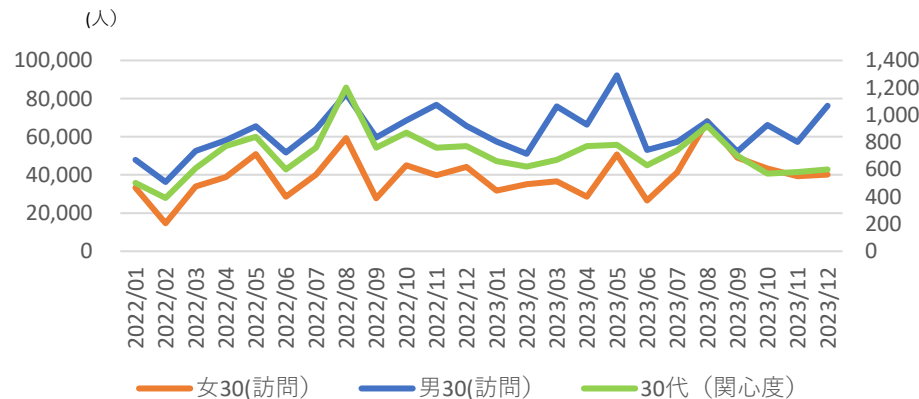
	女性	男性
20代	-0.22	0.40
30代	0.62	0.30
40代	0.71	0.37
50代	0.26	0.29
60代	0.31	0.49

※相関係数とは2つの変数がどれだけ関連しているかを示す統計量で、1に近いほど強い相関がある。0.2～0.4で弱い相関、0.4～0.7で相関関係があり0.7以上は強い相関がある。

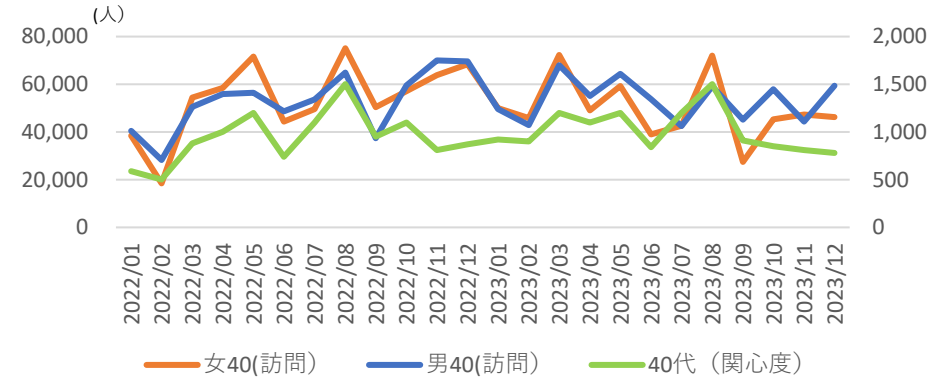
20代



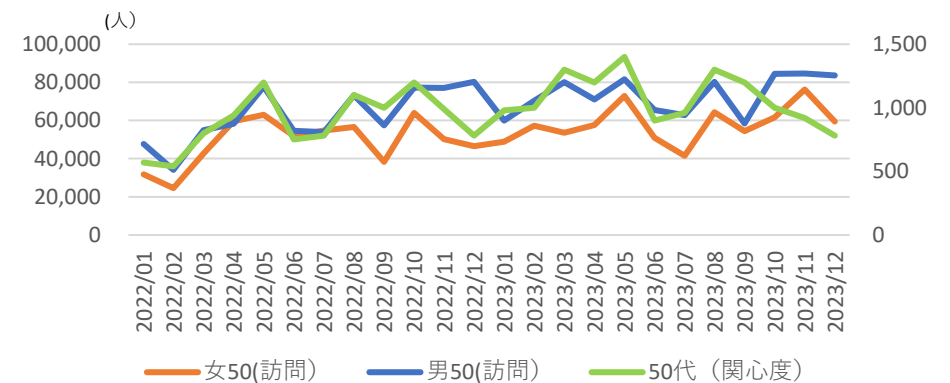
30代



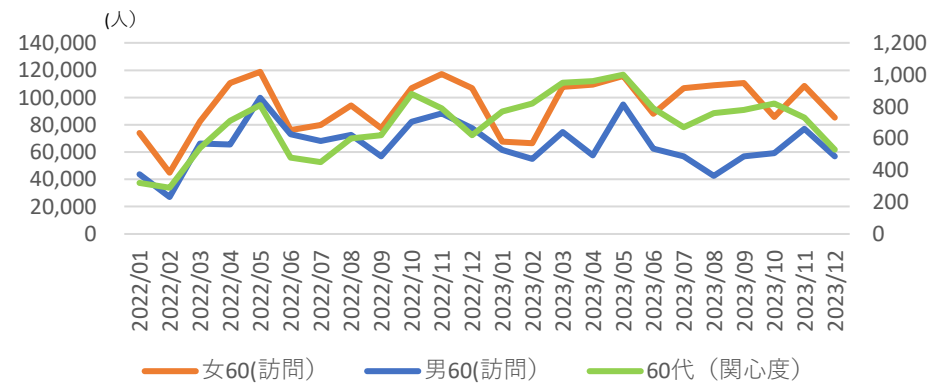
40代



50代



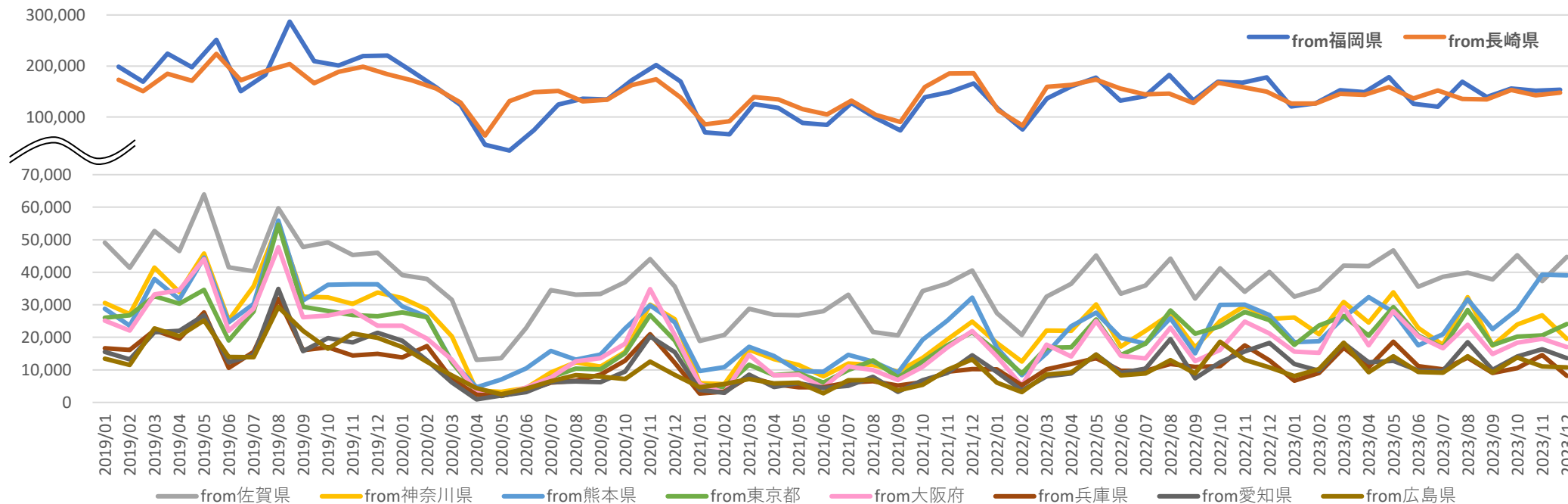
60代



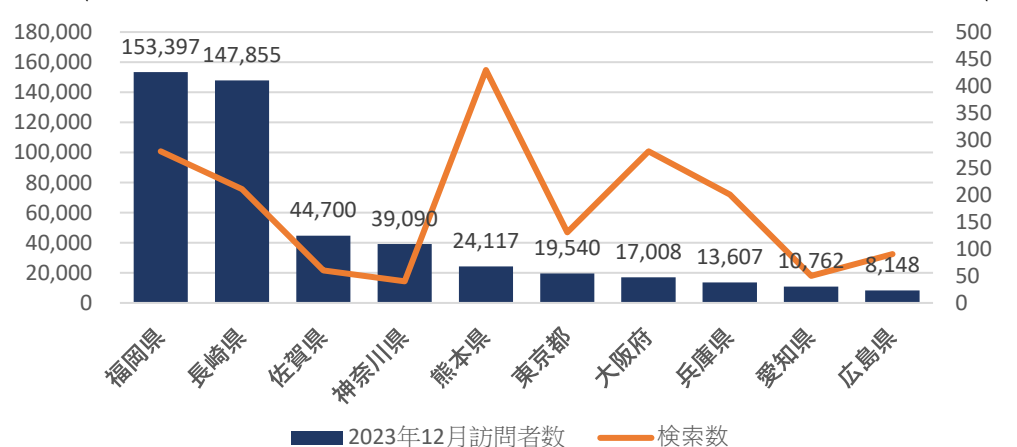
2023年12月／エリア別サマリー

- 本市への訪問者数は福岡県と長崎県からが最も多く、佐賀県、神奈川県、熊本県、東京都、大阪府の順となっている
- 前年同月比をみると、熊本県が145%で最も増加し佐賀県が112%で続いているなど、近隣からの訪問が増加している傾向がうかがえる。

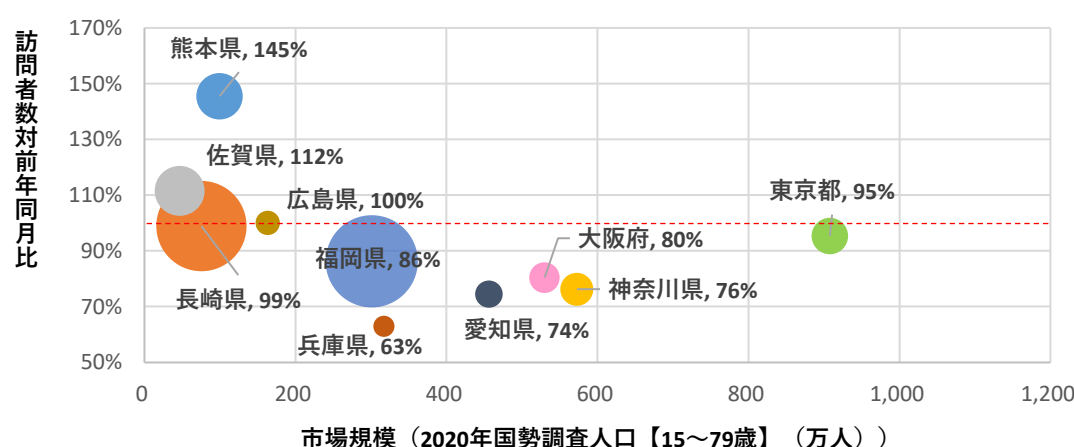
訪問者数推移 (人)



訪問者数(人) 12月都道府県別訪問者ランキング (主要10都市) + 検索数 検索数(人)

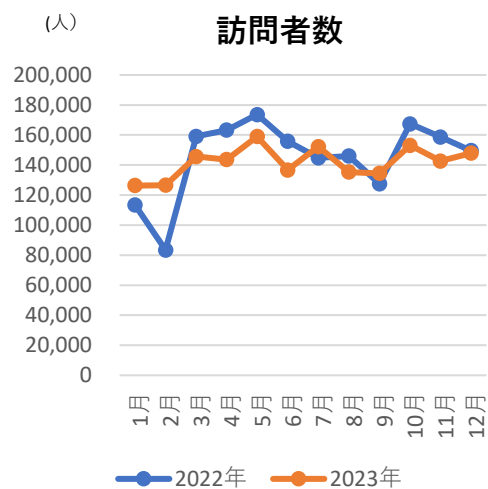


市場規模・訪問者数増加率 (対前年同月比) ※円の大きさは12月訪問者数

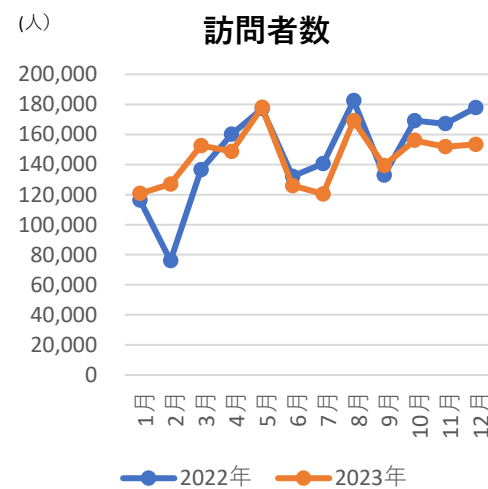


都市別訪問者数・関心度指数 前年比較

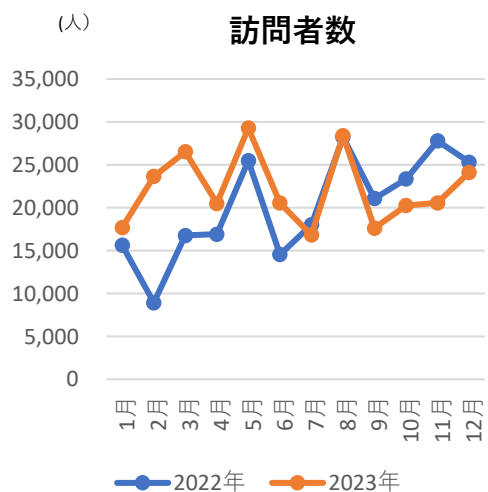
form長崎県



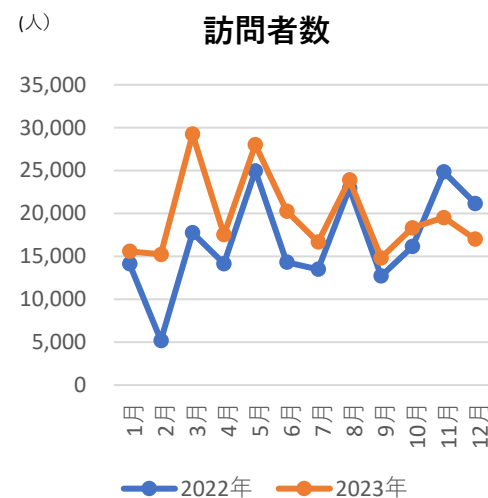
form福岡県



form東京都



form大阪府



資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成

訪問者数・関心度指数の相関関係

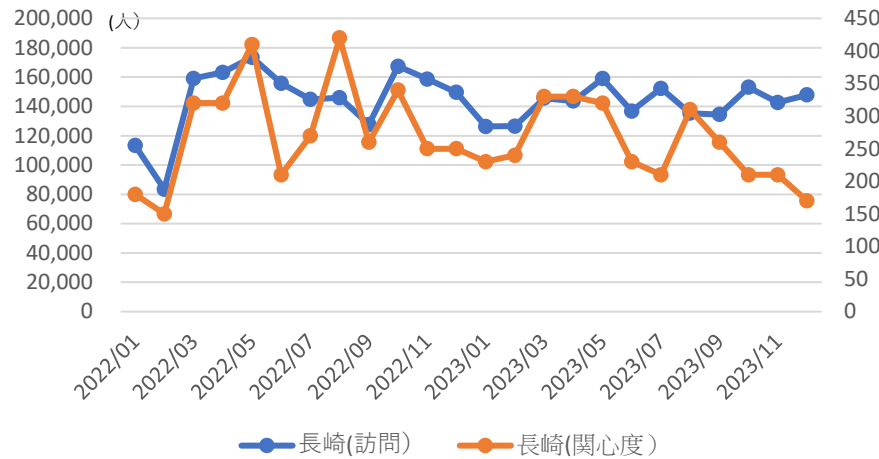
2022年訪問者数と関心度の相関係数※

長崎県	0.06
福岡県	0.39
東京都	0.60
大阪府	0.51

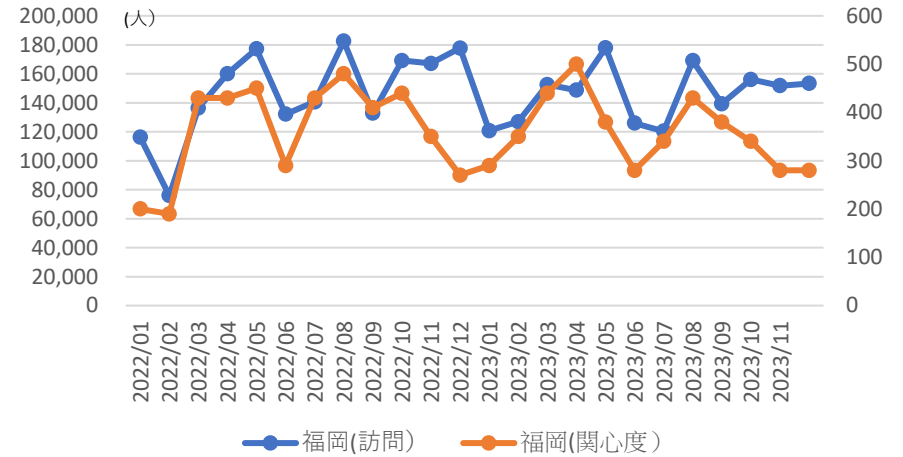
※相関係数とは2つの変数がどれだけ関連しているかを示す統計量で、1に近いほど強い相関がある。0.2~0.4で弱い相関、0.4~0.7で相関関係があり0.7以上は強い相関がある。

- 訪問者数と関心度の相関関係を見ると、東京都と大阪府で相関がみられるが長崎県や福岡県など近隣都市の相関は相対的に低い。
- 九州からの訪問者は比較的にリピーターが多く情報収集の手段が多様である可能性が高いため、相関係数が低い結果となっているとかがえる。一方、遠方の大都市圏からの訪問者は事前に検索サイトなどで情報収集を行う傾向が強く、情報発信やプロモーションの効果が期待できる市場であるといえる。

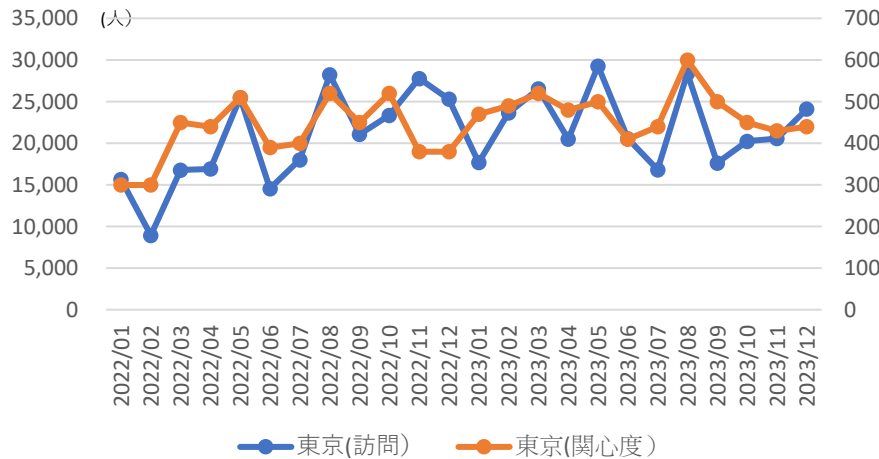
form長崎県



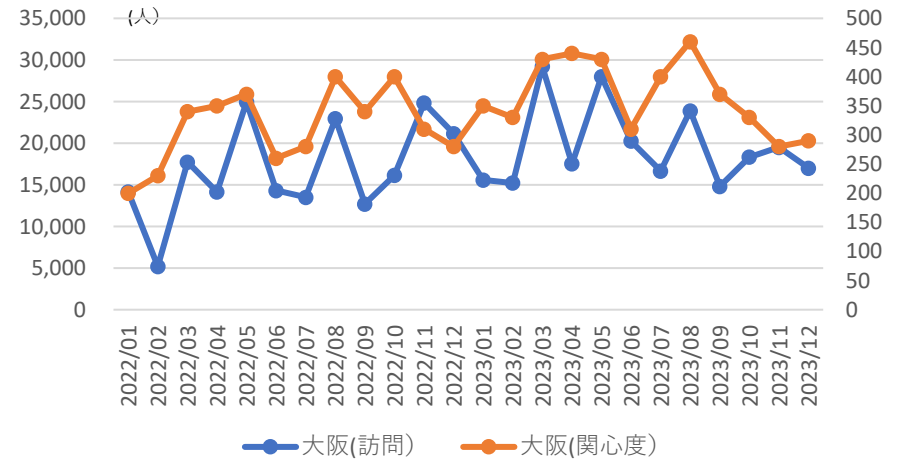
form福岡県



form東京都

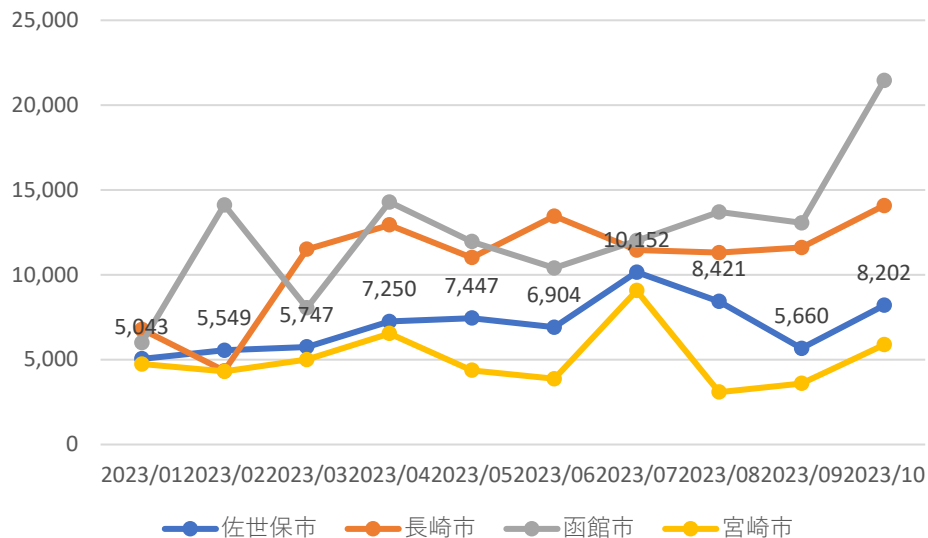


form大阪府

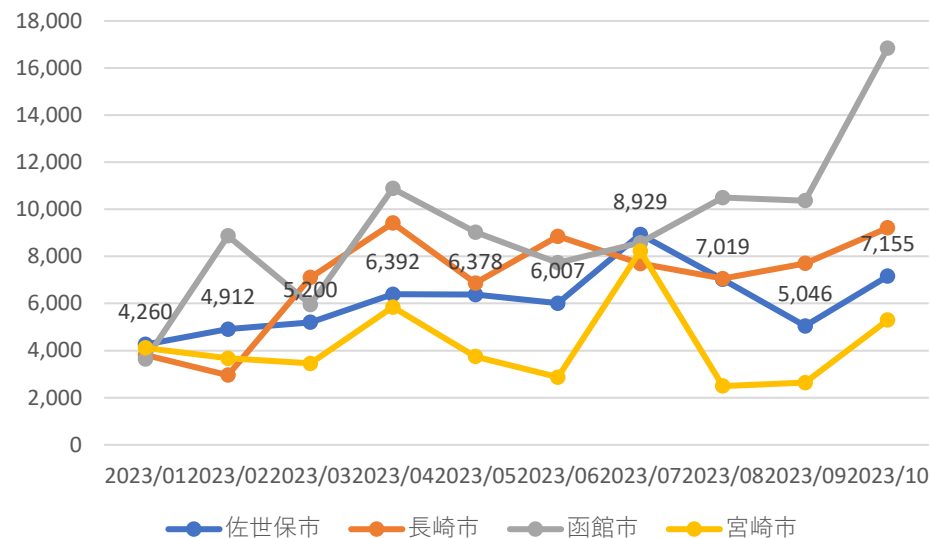


(参考) 外国人宿泊動向・客室稼働率

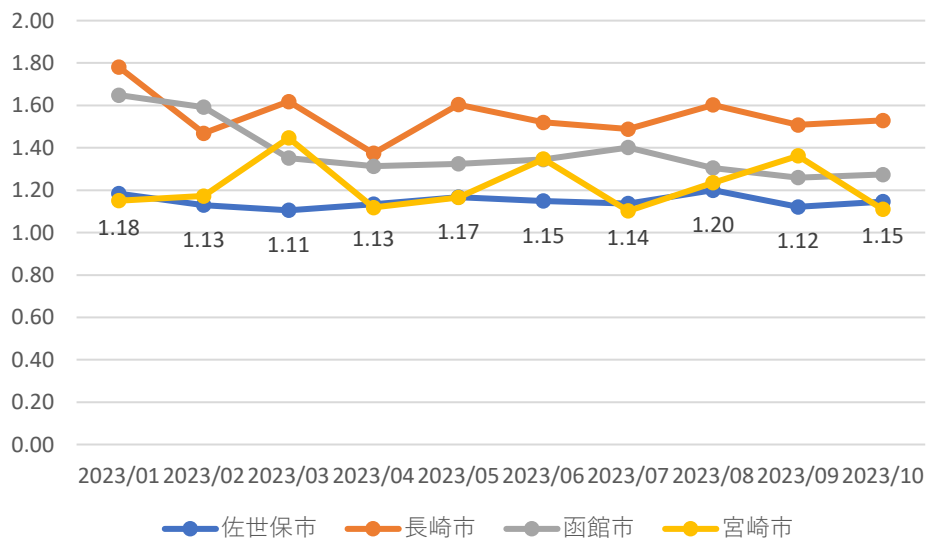
外国人延べ宿泊者数 (人)



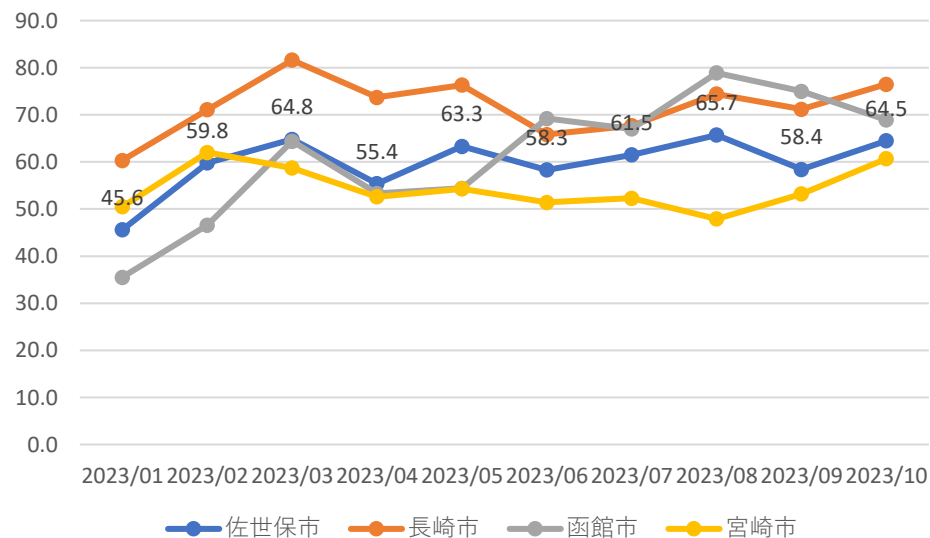
外国人宿泊者実数 (人)



外国人平均宿泊数 (泊)



客室稼働率 (%)



資料) 宿泊旅行統計調査

佐世保観光マーケティングレポート 2024年1月号

発行者: 公益財団法人佐世保観光コンベンション協会

(データ分析・提供・編集協力): 公益財団法人ながさき地域政策研究所

【ご注意: 本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、公益財団法人佐世保観光コンベンション協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。